

1. 単元名(主題) 「検証結果を整理し、プレ探究を総括しよう」

～プレ探究計画書兼報告書の完成と後期「専門的課題研究」への接続～

2. 本時の主題の概要および設定理由

前時(第13回)において、生徒はグループまたは個人でアンケート調査や文献調査などの検証結果を整理し、「事実(研究結果)」と「解釈(考察・結論)」の書き分け、および「今後の展望」の描き方という主要な記述ルールについて指導を受けた。

本時(第14回)は前期プレ探究の「最終回」にあたる。成果物(『プレ探究計画書兼報告書』)のシステム上における最終提出期日は9月下旬に設定されているが、チームのメンバーが一堂に会し、対面で共同編集や意見調整を行える機会は本授業が最後となる。そのため、授業時間内にほぼすべての記述を完了させ、「授業後は個別の微調整のみ」という状態まで仕上げるよう生徒に強く促す。また、本時より後期「専門的課題研究」へのコース選択を決定する『専門的課題研究分野本調査』を配信する。後期に向けた準備期間中には、特にラボコース希望者に対して重要な選考・手続きに関するアナウンスがClassroom上で頻繁に行われる。生徒に対して、これらを随時確認する主体的な情報収集の姿勢を求めるとともに、後期初回授業の教室割連絡の時期を明示することで、前期の探究活動を円滑に締めくくり、後期の専門的課題研究へ主体的に接続させる。

3. 本時の目標

- 1) **探究成果の総括と報告書の完成:** チームメンバーと協働しながら、事実と解釈を適切に区別し、本時内で『プレ探究計画書兼報告書』をほぼ完成の状態に仕上げるができる。
- 2) **適正なコース選択と期限内回答:** 後期「専門的課題研究」に向けた自身の関心に基づき、配信された『専門的課題研究分野本調査』を熟読し、期限内に確実に回答・送信できる。
- 3) **主体的な情報収集態度の確立:** 後期の開始に向け、Classroom等を通じて配信される重要な連絡を継続的かつ自発的に確認し、行動計画を立てることができる。。

4. 本時の準備・使用教材

- 教員用提示資料: 『SS I 総探-第14回スライド』
- 使用教材(副教材): 『課題研究メソッド 2nd Edition』(岡本 尚也／新興出版社啓林館／2021)
- 生徒用ワークシート: 『前期プレ探究ノート』(Google Classroomにて配信済み)
『専門的課題研究 希望研究テーマシート』(ラボコース希望に配布)
- 共同編集用ファイル: 『プレ研究計画書兼報告書』(共有ドライブに原本テンプレート格納)
- 教員用管理資料: 『教室別名票』(各教室の担当教員に配布)、『HR別名票』
- 共有用デジタルファイル: 『前期プレ探究チーム決めスプレッドシート』(各教室用シート)
『SS I 分野&担当教員一覧』
- 共通参照資料: 『高1 SS I 学習の手引き』

5. 本時の展開(50分)

時間	学習活動	指導上の留意点・教員の支援
2分	(1) 出席確認と授業環境の確認。 - 学問分野ごとに指定された教室に入室し、出席確認を受ける。座席は自由とする。 - 個人端末の準備を整え、Google Classroomから『第14回授業スライド(PDF版)』を表示する。	- ホームルーム別の出席確認を効率的に行う。 - 座席は自由とするが、出欠の不一致がないよう名票と照合する。
4分	(2) 本時の目標および活動内容の確認 前期最終回のゴールである「プレ探究計画書兼報告書の完成」について理解する。	- 本時が「プレ探究の最終回」であることを告げ、原則としてこの授業時間中に最終成果物である『プレ探究計画書兼報告書』を完成させるよう指導する(チームで対面作業ができるのは本日が最後となるため、授業終了後は各自での微調整のみとなるイメージを持たせる)。 - 前時に説明した重要事項(「結果」と「考察・結論」の明確な書き分け、「今後の展望」の記述基準)について、スライドを用いて要点を簡潔に再確認する。
4分	(3) 後期「専門的課題研究」に向けた本調査および連絡方法の確認 『専門的課題研究分野本調査フォーム』の配信確認と、今後の重要連絡に関する注意点について把握する。	『SSⅠ総探-第14回スライド』を提示し、本日配信された『専門的課題研究分野本調査フォーム』への期日までの確実な回答・送信を指示する。 - 後期に向けて、特にラボコース希望者に対しては、Classroomを通じて重要な連絡(研究室訪問、相談会、選考基準等)が多数配信されるため、随時確認することを徹底して伝える。 - 後期初回の授業連絡(割り当て教室等)については、後期授業開始日の1週間前を目処にClassroom上で発表・伝達することを予告する。
35分	(4) グループワークおよび研究室訪問【プレ探究ワーク】 各チームの検証手法に応じた作業を進める。チームで協力して、最終成果物『プレ探究計画書兼報告書』を整理し、推敲を行う。 【希望者の研究室訪問】 ラボコース希望者や個別相談を要する生徒は、『希望研究テーマシート』を持参し、該当分野の教員が待機する教室へ訪問して指導・アドバイスを受ける。	- 教員は教室を巡回し、生徒の記述内容が「結果(事実のみ)」と「考察・結論(分析・解釈)」に正しく書き分けられているか、簡潔に点検・アドバイスを行う。 - 生徒が役割分担をしながら、本時間中にほぼ100%完成(あとは微調整のみの状態)に近づけられるよう、時間を意識した進行管理を促す。 - ラボ希望者の研究室訪問が本日中に完了するよう、必要に応じて移動を適切に管理・把握する。
5分	(5) 前期探究活動の総括と今後の提出スケジュールの確認 前期プレ探究の活動全体を振り返り、本日の決定事項と期日を再確認する。	以下の期日と留意点を改めて強く指導する。 - 本調査フォームの送信期限厳守 - プレ探究計画書兼報告書の最終完成(※所定の共有フォルダ保存をもって提出とする) - Classroomの随時確認(後期に向けた各種連絡、初回授業1週間前の教室割連絡等) 前期の授業がこれで最後となることを告げ、これまでの学びを後期の専門的な研究へ繋げるよう激励する。 「プレ探究で見えた課題や、時間切れで調査できなかった未解決の問いこそが、後期から始まる本格的な専門的課題研究における真のスタートラインになる」